

a 学校教育目標		b 経営理念 ミッション・ビジョン		【ミッション】(自校の使命) 北方小で学んでよかったと思える信頼される教育活動の推進 【ビジョン】(自校の将来像) ・確かな学力を身につける学校 ・保護者の信頼に応え、地域と共に歩む学校 ・ふるさとを愛し、豊かな心が育つ学校											
評価計画						改善方針			学校関係者評価						
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	担当	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	改善方針	評価			
						達成値	達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力	◎国語・算数における基礎・基本の徹底	○月2回以上基礎・基本タイムを実施する。 ○毎月1回、確認テストを行う。	・確認テスト 平均85点以上 ・基礎・基本定着状況調査83点以上、標準学力調査昨年度比2Pアップ	100%		【確認テスト】 国 79% 算 83.3% 【基礎基本】 国 80.4% 算 85.3%	【確認テスト】 国 90% 算 102% 【標準学力調査】 国 79% 算 77.9%	100%	B	標準学力調査では、前年度比国語2Pダウン、算数1.3Pアップで目標達成できていない。 【国語】単元末テストは90%であり既習教材の読み取りはできているが、標準学力調査など初めて読む文章の読み取りの正答率は低い。 【算数】数量関係と数学的な考え方の正答率が低い。	・考えを書いたりわかりやすく説明することを重点に置き授業改善を行う。 ・家庭学習に読み取りの課題を出す。 ・算数の授業では、言葉・式・図を関係づけて表現させる。 ・フォローアッププリントを継続する。	○ ○ ○ ○ ○	○	○	・複式授業でも、子どもたちに学力をつけることはできる。子どもたちの自学の力をもっと伸ばすようさらに頑張ってください。
	◎授業力の向上	○一人3回以上の授業研究と定期的な授業観察をする。 ○「勉強がよくなる」について児童アンケートを実施する。 ○小中連携授業公開を行う。	・授業研究回数3回以上 ・児童アンケートを3回以上実施し、「勉強がよくなる」の肯定的評価80%以上にする。 ・他校への授業公開を2回以上行う。	100%		【授業研究】 41% 計画通り 【児童アンケート】 84%	【授業研究】 100% 【児童アンケート】 84% 【授業公開】100%	100%	A	・授業研究は、計画通り行うことができた。 ・「勉強がよくなる」と答えた児童は10月より増加した。 ・他校への授業公開は、11月に2回実施した。	・指導の工夫(教材研究、目標の明確化や発問の精選) ・基礎基本の問題を徹底するため、フォローアップ問題は3回以上繰り返し行う。 ・各学年の課題を交流し、改善の視点を明確にする。 ・次時の予告し意欲的に予習ができるようにしていく。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	・標準学力調査の結果が目標値を達成できなかったのは残念である。課題となる学習内容を定着させるため、まずは、フォローアッププリント等で定着を図ってほしい。
	◎家庭学習の充実(設定時間・自主学習)	○家庭読書の習慣化に向けた課題を設定する。	・家庭学習(低30 中40 高60分)設定時間の達成率 ・家庭読書1週間1時間以上達成率	85%		【家庭学習】82.5% 【家庭読書】73%	【家庭学習】88.2% 【家庭読書】70%	93%	B	・家庭学習の習慣化は、ほぼできている。 ・家庭読書では、30分以上する児童が10月より増加してきているが、習慣化できていない児童は30%。 ・チャレンジウィークの結果「家読30分以上」が23.9%から31.8%に増加した。	・家庭学習の習慣化は、ほぼできている。 ・家庭読書では、30分以上する児童が10月より増加してきているが、習慣化できていない児童は30%。 ・チャレンジウィークの結果「家読30分以上」が23.9%から31.8%に増加した。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	・児童一人一人の実態に沿った値への指導も大切である。
	◎「話す力」の向上	○朝の会の音読を継続する。 ○授業で、自分の考えを全員が発表できるようにする。	・朝の会音読達成率 ・児童と職員アンケートによる達成率	80%		【音読アンケート】100% 【児童アンケート】94% 【職員アンケート】59%	【音読】100% 【児童アンケート】92.5% 【職員アンケート】75%	104%	A	・朝の会の音読は、全学年継続して取り組んでいる。 ・朝会で自分から意見を言う児童90%以上に増えているが、授業では自分の考えを積極的に発表できていない。	・朝の会の音読を継続する。 ・今年度中に各学年「発表の仕方」「基本形」等の表現力を高めるスキルを再検討し、児童へ指導していく。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	・家庭学習で高学年では予習をするような学習を指導してほしい。
	◎「書く」を中心とした表現力の向上	○国語の時間に書く活動とペア学習を取り入れる。 ○作品応募(作文・俳句・毛筆等)をする。	・ノート交流を月1回実施する。 ・作品応募回数 3回	100%		【ノート交流】100% 【作品応募】15回	【ノート交流】100% 【作品応募】 5回		A	・ノート交流を月1回継続して実施した。そのため、9月に比べ、どの学年もノートの書き方が定着してきた。 ・賞に入った児童を全校児童に紹介し、意欲を高めた。	・今後も書く時間の設定と教師の評価を継続していく。 ・作品応募に向けて作文指導の研修を研究計画に組み入れる。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	・少人数であることを生かして、作文力(書く力)を高める取組を進めてほしい。
豊かな心の育成	◎元気の出る挨拶と「はい」の返事	○学校内外で進んで挨拶・返事をする児童を評価する。 ○アンケートを実施し、実態把握と改善を行う。	・児童と保護者・地域アンケート80%	100%		【児童アンケート】 90% 【保護者アンケート】 73% 【地域アンケート】 83%	【児童アンケート】 89% 【保護者アンケート】 75% 【地域アンケート】 75%	98%	B	・チャレンジウィークなどを通して児童や保護者の意識を高めることができた。 ・朝会時や登下校時の声かけやあいさつの本木など評価する場を設定したことで、児童の頑張りを認める機会が増え自分からあいさつをする児童が増えた。	・地域・家庭であいさつができる児童を増やす。 ・満点挨拶に向けて目標を持たせ継続して評価する活動を工夫する。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	・挨拶はだんだん良くなってきているように感じている。
	◎黙ってすみずみまできれいに掃除	○無言掃除を実行する。 ○なかよし班掃除で点検表を利用し振り返りをさせる。	・黙って「すみずみまで」掃除 児童と職員アンケートによる達成率	80%		【児童アンケート】 78% 88.9% 【職員アンケート】 57%	【児童アンケート】 88.9% 【職員アンケート】 75%	102.0%	A	・10月より達成率がかなり上がっている。 ・毎週シールを貼ることや毎月「おそうじようずで賞」を表彰していることが児童の意欲につながった。	・評価の観点を明確にして「おそうじようずで賞」を毎月実施する。 ・事前に担当場所の確認をする。(班の担当職員と班長による掃除場所の確認と班員への周知)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	・いいところを認めていく場の工夫がされている。
	◎時計を見て行動	○ノーチャイムを継続し、朝会・掃除時間に、3分前の放送を入れる。	・「時間を守る」児童・職員アンケートによる達成率	80%		【児童アンケート】100% 【職員アンケート】100%	【児童アンケート】94.4% 【職員アンケート】100%	121%	A	・時計を見たらずみずみで行動している。 ・次時の学習準備をして休憩することができる。	・本館スタイル「次の授業準備をして休憩」を徹底できている。 ・掃除開始時刻を守るシールを貼ることを継続する。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	
	◎廊下や階段を静かに歩行	○教室移動時の指導を徹底させる ○休憩時間の過ごし方に気をつけさせる。	・児童と職員アンケートによる達成率	80%		【児童アンケート】88% 【職員アンケート】85%	【児童アンケート】91.7% 【職員アンケート】82.5%	96%	B	・児童と教師の評価に30P近くの開きがある。授業での教室移動は静かに歩行できているが、休憩時間の歩行には課題がある。 ・授業前の時間、外遊びをする児童が増えた。	・休憩中の廊下歩行について意識を高めるような児童会で取り組ませたり掲示したりする。 ・全職員で徹底して指導する。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	
健やかな体	◎体力・運動能力向上	○体育の時間には、毎時間、柔軟運動・サーキット(握力向上)を実施する。	・体力・運動能力テスト全国平均を上回る種目75%	100%		70.1%	72.0%	96%	B	・「長座体前屈」「ボール投げ」「反復横跳び」などの種目が特に弱い学年がある。体育の時間のサーキット・柔軟運動はどの学年も取り入れられてきたが、全国平均を3学年下回っている。	・再度体力テスト改善計画を確認し改善内容を確実に実施する。 ・さまざまな種類のボールを準備し、各学年に応じた練習及びゲームの中で投げた運動を取り入れていく。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	・体力の向上につながる取組を工夫して取り組んでほしい。
	◎持久力アップ	○毎朝3分間、マラソンまたは縄跳びをする。(5、6月、10月～2月) ○外遊びを励行する。	・マラソンとなわとび実施率 ・外遊びについて児童と職員アンケートによる達成率	80%		【マラソン】5月実施 【外遊び】70%	【毎朝3分間の縄跳び・マラソン】100% 【外遊び】98%	100%	A	・保健体育委員会を中心にマラソン・なわとびの運動を継続した。 ・児童会「仲良しデー」を継続的にを行い、他学年と一緒に外遊びをする子が増えた。また、男女関係なく遊ぶ姿が見られるようになった。	・来年度も委員会の活動に位置づけ、朝縄跳び・マラソンを継続する。 ・がんばりカードや、表彰などで子どもの頑張りをその取組ごとに行い子どもたちの意欲を高めている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	・読書は学力の基礎づくりとして欠かせない。読書習慣の定着に向けて、更に取り組んでほしい。
	◎生活リズムの確立	○チャレンジウィークを実施する。家庭読書と早寝の状況について、保護者へ啓発する。	・チャレンジウィーク5回実施 ・保護者への連絡回数2回以上	100%		3回 計画通り	4回 計画通り	100%	A	・チャレンジウィークは計画通り実施。 ・「10時までに寝る」は、73.8%から66.4%に減少した。学年が上がることによって寝る傾向がある。	・家庭を宿題に位置づけ読書を習慣づける。 ・睡眠の大切さの指導と保護者との連携(通信等での協力依頼など)を継続する。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	
信頼される学校	◎積極的な情報発信	○学校通信と学級通信を発行し、学校・学級経営に係る進捗状況報告等により内容を充実させる。 ○学校のページを毎月1回、学年のページを2月1回更新する。	・毎月2回以上の通信発行 ・目標更新回数の達成率	100%		100%	100%	100%	A	・毎月2回は発行できた。学級経営室に関係した内容をたみりては十分な点もあった。 ・設定した更新日の実施は遅れがちであったが、目標回数は達成できた。	・児童の成長が見えるものや課題、教師の思いなどをタイムリーに伝える。 ・更新日厳守で作業ができるよう、3月の校内研修でH2P作成・アップの仕方を研修する。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	
	◎連携教育の推進	○幼・保・中・B小との連携	○学力向上に向けた連携を密に行う。 ○保・幼との連携行事を行う。	・本郷校区のスタンダードを作成する。 ・保幼との連携行事3回以上	100%		計画通り ・本年1回 1年1回各種行事に参加	100%	A	・本郷中学校区学力総合対策事業の取組の中で、年4回の協議会、国語の授業研究8回、算数の授業研究6回と本郷中学校区の学校が1つの方向性をもって学力向上に取り組むことには大きな成果である。 ・「本郷スタイル」定着に向けて、次のステップを児童とも確認し、具体をしながら指導する。 ・「本郷スタイル」の取組により授業に対する構えが高まった。 ・卒業生、新一年生との中学校、幼稚園・保育所との連携は計画に沿って行っている。	・学力総合対策事業は2年次となる。教育研究の取組とつなげて計画を立てる。 ・「本郷スタイル」定着に向けて、次のステップを児童とも確認し、具体をしながら指導する。 ・幼保小中連携を計画的に行うとともに、互いの行事への参加を通して、幼児・児童・生徒の実態を把握することに努める。 ・年度末には、新入学児童の連携を行う。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	・幼保小中連携の取組、特に「本郷スタイル」の取組を継続して取り組んでほしい。